

# 長久手生まれ長久手育ちの市議会議員 山田けんたろう活動報告

みらい  
通 信号  
2018 秋号



まちの声を力に百年先（みらい）を創る！ Vol.10



ジョグパドでおなじみの  
山田けんたろうです。

## 今秋 要望と提案が続々と進行中です

### ① 公園西駅周辺地区に生活利便施設を誘致可能に事業計画変更

現在、当該地域には生活利便施設は無く、日々の交通渋滞もあり、お住いの方々はお買い物や病院へ行く等の移動もままならない状況であります。市が公園西駅周辺地区を【東部の拠点】と位置付けるならば、住宅のみの街ではなく、日常生活の基盤となる、スーパー、病院、薬局、郵便局等の生活利便施設を誘致すべきである。と平成30年第1回定例会の個人質問において、【東部拠点の形成と整備について】として、強く要望を行った結果、今秋には大街区化などの事業計画の変更を行い、生活利便施設が誘致できるようになる予定です。

### ② 定額乗り合いタクシーの実証実験事業 継続中

新たな高齢者等移動支援事業として、定額乗り合いタクシーの実証実験事業が、この9月より始まっています。これは、平成28年の当時、全国では高齢の方の運転による事故が多発し問題視され始めた頃であり、私も市民皆様から切実なお声を頂き、悲しい事故をこれ以上発生させないよう、平成28年の議会より2年間をかけて、計3回の個人質問と「あつたかあどの併用」の具体案や全国の乗り合いタクシーの先進地事例を含め5つの提案を行いました。



先ずは9月から10月末までの2か月間の実証実験からですが、ぜひご利用ください。

### ③ 長久手市自転車の安全利用に関する条例に反映を



現在、長久手市は、自転車の安全利用の推進と自転車に関する事故を防止するため「長久手市自転車の安全利用に関する条例」の策定に向け検討をしています。私は、全国で自転車保険加入を義務とする自治体が増えていることや、小学生と70歳以上の市民の費用を市で賄い、市民の互助により、交通事故で死傷した方に見舞金を支払う制度である「尾張市町交通災害共済」が平成33年3月に完全終了となることを鑑み、平成30年第1回定例会の個人質問において【自転車保険の加入について】として、長久手市でも、市民の自転車保険加入の推進や自転車の安全な利用について啓発や講習等の機会を拡充すべきではないかと提案しました。

そのほかの取り組みは裏面ににて👉

### 山田けんたろう プロフィール

「長久手生まれ 長久手 育ちの市議会議員」  
1974年（昭和49年）生まれの44歳  
長久手市 喜婦嶽出身  
長湫東保育園～長久手西小学校～長久手南中学校 卒  
その後名古屋市の高校へ進学、大学では建築学を学ぶ

- 会派 長久手グローバルネット
- くらし建設委員会 副委員長
- 尾張東部衛生組合議会議員
- 尾三消防組合議会議員
- 自民党愛知県支部連合会 青年局
- 自民党長久手支部 青年局
- 長久手市商工会 青年部
- 長久手市郷土史研究会
- 長久手ランニングクラブ
- (一社) 愛知中央青年会議所 第33代 理事長
- 第41回 JC 青年の船「とうかい号」チームリーダー
- 第49回 名古屋まつり 第30代 織田信長役

◇ 家族 妻と子2人（1男1女の父）

◇ 趣味 ジョグパド トレーニング 映画鑑賞

### 活動実績

- ジョギングパドロールの導入
- 乗り合いタクシー実証実験の導入
- 公園西駅周辺地区 設計変更（生活利便施設 誘致可能に）
- 就労支援コーディネーターの配置
- 古戦場再整備計画内のAR・VR展示の導入
- あつたかあどの普及、サービス拡充の各施策
- 高齢者の消費生活保護対策
- 歩道・横断歩道整備や市内各所の交通安全対策など

### 心の言葉

じょ  
恕  
(人を思いやる心)  
いちごいちご  
一期一会  
(出会いを大切に)  
亡き父からの言葉

長久手市議会議員 山田けんたろう 発行  
(長久手市喜婦嶽)

市民の皆様のお声をお待ちしています。  
お気軽にお声がけ下さい。

Web  
<https://yamada-kentaro.com>

E-Mail  
[nagakute@yamada-kentaro.com](mailto:nagakute@yamada-kentaro.com)

TEL 0561-63-6688

FAX 62-0370

Facebook、LINE  
タイムライン  
毎日更新中

後援会へご入会も随時  
お待ちしております。



山田けんたろう  
ホームページ

## 小中学校の新学期、残暑期間の校内での過ごし方について

今年7月長久手市は、最高気温35度を超える状況が7月初旬から続く、夏の異常気象を鑑み、子どもたちの生命を守るため対策を急ぐ必要があると判断し、市内各小中学校へ早急にエアコン導入するよう決めました。

私の個人質問では、6月、7月の猛暑日に実際に市長や教育長は学校へ出向き暑さを体感したのか、その結果はどうであったのか、今後のエアコンの設置にどのように反映していくのか、今後続く残暑期の暑さ対策はどうするのかを質問し、また、現在、学校毎に違う児童、生徒への熱中症対策や保護者への発信の仕方も、ある程度統一すべきでは無いかと保護者の皆様の気持ちになって求めました。

## 長久手市の防災施策について

- 6月から始まったブロック塀等撤去補助制度ですが壊したくても壊すことのできない、**高齢の方や生活弱者となる方への更なる対策**を求めました。
- 7月の西日本豪雨ではため池決壊による被害が起きました。市内に複数箇所ある、**防災重点ため池の安全性について市の見解と更なる対策**を求めました。
- 度重なる災害を受けて、住民自身が、**自身の住む地域の特性を知ることや、住む自治体のハザードマップを改めて見直すことが重視されています**。本市でも市民が地域の特性を知り防災マップを把握する取り組みや現在ホームページでのみ公表されている「ため池ハザードマップ」(被害予測地図)の周知やそれを実際の防災訓練へ反映させる事を求めました。
- 西三河地区の自治体間連携では、それぞれの自治体で作る防災マップを重ねて各市町の市境、町境の連携が取れていない空白地を知る取り組みがされました。**愛知県東尾張地区でも長久手市から発案し、防災の空白地帯を解消するよう努めないか**と提案しました。
- **本年度より始まった防災士取得助成制度**ですが、市は制度上の取り決めから防災士の住まいや地域を把握していません。市はこの制度の目的の主旨を「地域の防災力の向上であり災害時に防災士自らが行動し地域におけるリーダー役としての役割を期待する。」としています。このままでは制度も活かされません。日本防災士機構や取得の市民に個人情報や災害時の協力の有無なども任意で伺って、本市のいざという時のために備えるべきではないかと求めました。
- **全国では大学生防災サポーター制度を設けている自治体があります**。市長は長久手市の2050年の課題として「高齢化、大災害、人口減少すべてはこれに対応するためには市民協働」と言っています。本市には大学連携協定があります。災害時、避難所では動ける若い力が必ず必要になります。**市内の若い力を防災に活かす施策の実現をお願いしました**。



出典：松山市消防局

## 長久手市にバーベキュー場を（3年前にも提案しています）

本市は子育て世帯が多く、休日にバーベキューを楽しむご家族も少なくはありません。しかし市にはバーベキューを公にできる施設は無く、モリコロパークの基本計画にあったデイ・キャンプ場もジブリパークの誘致が決まり白紙となりました。ここで福祉の家・田園バレー交流施設再整備事業の出番ではないでしょうか。福祉の家は、災害時の福祉避難所に位置付けられます。温泉もあります。防災の面でも煮炊きができるスペースは必要と考えます。

## その他の一般質問

◆ 三ヶ峯 第3公園に時計等の公園施設を !!

詳しくは山田けんたろう ブログにて。  
👉 <https://yamada-kentaro.com>